

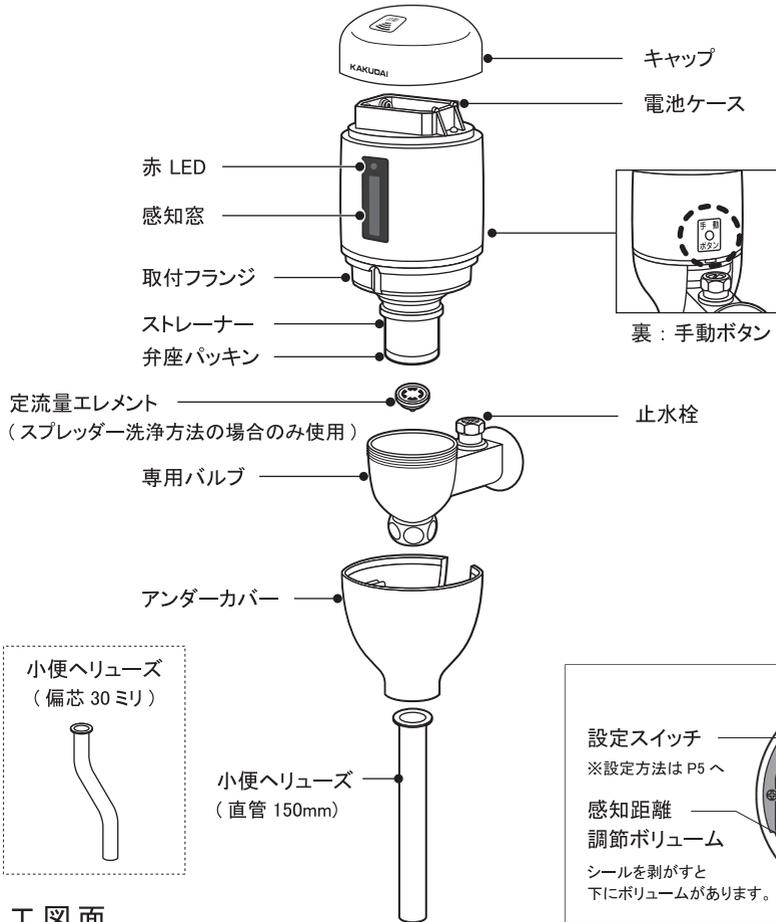
センサー小便フラッシュ

このたびは「センサー小便フラッシュ」をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。本製品の機能が充分に発揮されますよう、この「取扱説明書」をよくお読みいただき、正しくお使いください。なお、お読みになった後は、大切に保管してください。

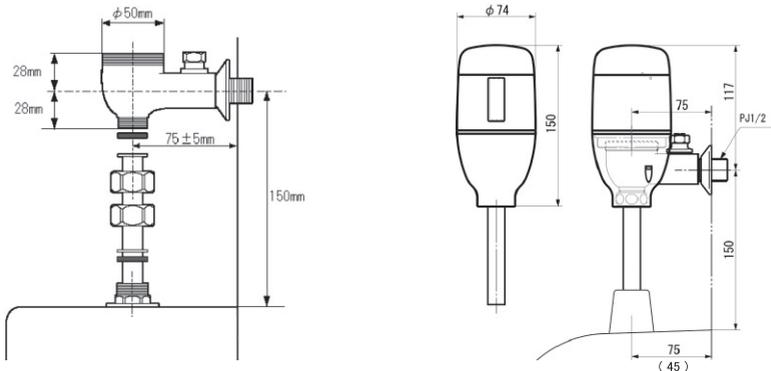
各部の名称	1	ストレーナーの清掃	8
使用方法	2	洗浄停止モード	8
取付手順	3,4	湯水モード	8
設定スイッチ	5	使用上のご注意	9
電池交換	6	仕様	9
感知距離の調整	7	「故障かな？」と思ったら	10
赤 LED 点滅パターン	7	保証書	裏面

工事業者様へのお願い 必ずユーザー様へお渡しください。

各部の名称



施工図面

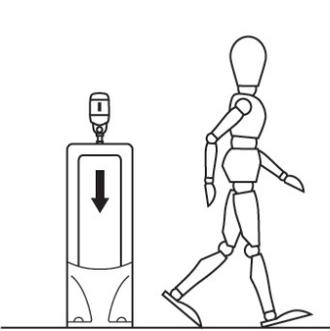


※()は同梱部品の小便ヘリューズ(偏芯 30ミリ)で対応可能です。

使用方法

■ 自動洗浄の動作

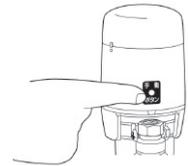
センサーが使用者を感知し、便器から離れると自動で水が流れます。

		
感知	前洗浄	本洗浄
<p>感知窓から30～40cm以内に接近するとセンサーが感知します。</p> <p>※電池装着してから10分間、使用者感知中はLEDが連続点灯しますが、10分経過すると一瞬しかLEDは点灯しません。</p>	<p>便器の前に人が立つと約2秒間の洗浄を行い、便器への尿の付着や飛び散りを抑えます。</p> <p>※出荷時は前洗浄「無」です。「有」にする場合はP5のスイッチ設定をご参照ください。</p> <p>※前の使用者の本洗浄後から約3分間は、水の浪費を減らすため前洗浄を省略します。</p>	<p>使用后、便器から離れると本洗浄を行います。 (出荷時設定 5秒)</p> <p>※本洗浄時間の変更はP5のスイッチ設定をご参照ください。</p> <p>※使用時間が短い場合や前の使用者との間隔が短い場合は洗浄水量を少なめにします。</p>

■ 補助的な動作

手動洗浄

本体背面の手動ボタンを約1秒押しと、適時水を流すことができます。



設備保護洗浄

尿石の付着を防ぐため、長時間便器を使用しない時に定期的に自動洗浄します。
(最終使用から24時間連続未使用ごとに自動洗浄)

簡易凍結防止機能

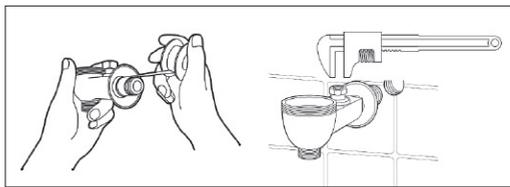
寒冷地で水道管の凍結を防ぐため、約3℃未満になると温度に応じて間欠吐水を行います。(出荷時設定は「入」になっています。「切」にする場合はP5のスイッチ設定をご参照ください。)

取付手順

センサーの感知範囲内に手すりがある場合は、正常動作をしないことがあります。
別売の反射防止シートをご用意しておりますのでお問い合わせください。

STEP 1 専用バルブの取り付け

専用バルブのねじ部にシールテープを巻いて給水管に取り付けます。



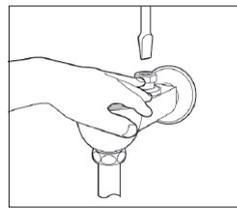
STEP 2 小便ヘリューズの取り付け

小便ヘリューズのツバをバルブ側にして上下袋ナットを通して小便器に差し込みます。パッキンを挟み、袋ナットを締めます。小便ヘリューズの長さは現場に合わせて必要により切断してください。



STEP 3 配管内の掃除

バルブ、配管内のごみを洗い流すため、バルブの開口部を手のひらで押さえ、一旦止水栓を開けて通水してください。ごみが流れ落ちたら止水栓を閉めてください。

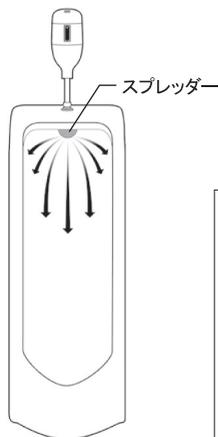


STEP 4 定流量エレメントの取り付け

スプレッダー洗浄方式

※スプレッダー洗浄方式の場合のみ

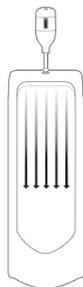
小便器上部のスプレッダーから放射線状に洗浄するタイプの小便器の場合は、バルブ内の底部中心に、付属の定流量エレメントの突起を下にして、底に装着してください。



注意!

淀掛け洗浄方式

小便器上部の多数の小穴から洗浄水が流れるタイプの小便器は、洗浄水量を確保するため、定流量エレメントは取り付けません。取り付けると、設定された水量が正しく流れません。

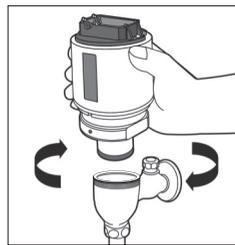


水量の設定はP5へ

※ スプレッダー洗浄方式で出荷されています。

STEP 6**本体装着**

バルブに本体を垂直に差し込み、両手でねじ込んでください。回らなくなるまで(2~3回転以上)しっかりとネジ込んだ後、逆に回して少し緩め、感知窓を正面に向けてください。

**STEP 7****電池のセット**

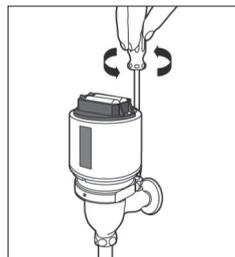
付属の単3アルカリ乾電池2本を電池ケースの(+)(-)マークにしたがってセットしてください。電池をセットした直後にLEDが約1秒間点灯します。

※ 希に輸送中の振動で電磁弁が開いてしまうことがありますので、必ず電池をセットしてから止水栓を開けてください。

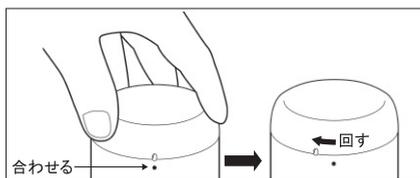
**STEP 8****止水栓を開ける**

マイナスドライバーで、バルブの止水栓を開けてください。

※ 止水栓を開けた時、バルブとの間、または便器内に水が漏れだしている場合は、本体装着のねじ込みが不十分と考えられます。止水栓を閉じてから、本体を取り外し、再度取り付けてください。

**STEP 9****キャップを閉じてロック**

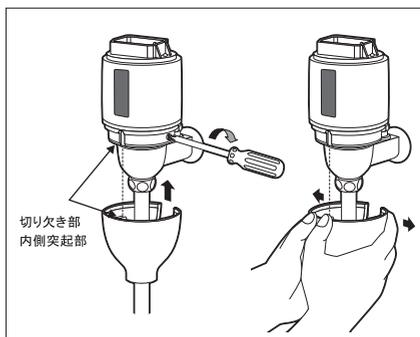
キャップの小さな突起を本体の「ロック解除穴」に合わせて被せ、キャップを時計と同方向に約1cm程度回してください。「カチッ」と音がしてキャップがロックされます。

**STEP 10****アンダーカバーの取り付け**

1. フランジの固定ネジをプラスドライバーで軽く締め付けます。

※ 締め過ぎないようにしてください。締め過ぎますとバルブの損傷の原因となります。

2. フランジ下方から上方向にアンダーカバーを差し込み、後方のフチを広げてフランジに装着してください。



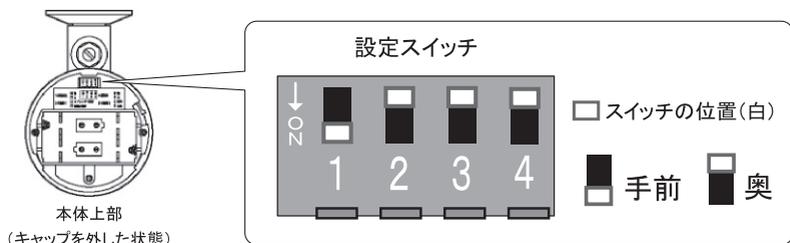
設定スイッチ

重要

スイッチの切り替えは、必ず電池を抜いた状態で行ってください。

電池が入ったままではリセットがかからず、切替後の設定が反映されません。

スイッチの頭(白)を「手前」または「奥」にしっかりと動かし、使用環境に合わせて設定をしてください。スイッチがしっかり入り込んでいないと正常動作をしない場合があります。



[] 出荷時設定

スイッチ位置	1	2	3	4
	簡易凍結防止機能	洗浄方式	本洗浄の洗浄時間	前洗浄
	切	[スプレッダー]	[標準]	[無]
	[入]	淀掛け	長め	有

※ 簡易凍結防止機能

寒冷地で水道管の凍結を防ぐため、気温約3℃未満になると温度に応じて10分～30分ごとに間欠吐水を行います。

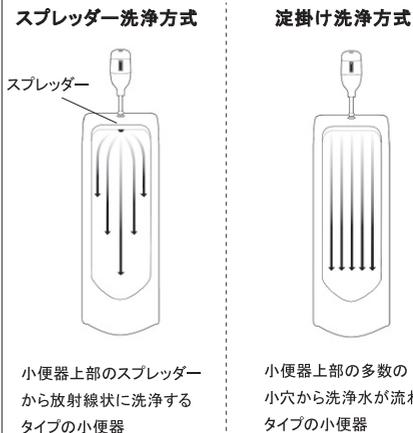
※ 本洗浄の洗浄時間

- ・洗浄方式をスプレッダーにした場合
標準:10秒、長め:15秒
- ・洗浄方式を淀掛けにした場合
標準: 5秒、長め:8秒

※ 前洗浄

便器の前に人が立つと約2秒間の洗浄を行い、便器への尿の付着や飛び散りを抑えます。前の使用者の本洗浄後から約3分間は、水の浪費を減らすため前洗浄を省略します。

※ 洗浄方式



電池交換

電池交換の際は必ず新品の単3アルカリ乾電池2本を用意してください。

電池が消耗すると、感知窓の赤LEDが常時点滅してお知らせします。

このサインが出たら、早めに電池を交換してください。

※上記のサインが出てもしばらくは通常動作を続けますが、やがて洗浄を停止します。

STEP 1

キャップを開ける。

本体右側上部にある[ロック解除穴]につまようじを差し込み、奥に押し込みます。この状態でキャップを時計と反対方向へ回しキャップの小さな突起と[ロック解除穴]が合ったところで上に引き上げます。



STEP 2

使用済み電池を2本とも取り出す。

洗浄動作中に電池を取り出すと水が出たままとなりますが、新しい電池を入れると止水します。



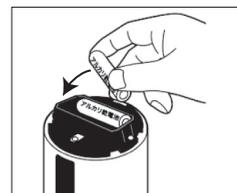
STEP 3

新しい電池を電池ケースに装着する。

用意した新品の単3アルカリ乾電池の＋を確かめて向きを間違えないようにきちんと差し込みます。

※マンガン乾電池は絶対に使用しないでください。

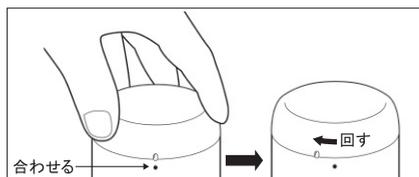
誤動作や電池液漏れの原因になります。



STEP 4

キャップを閉じる。

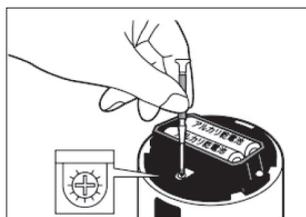
キャップの小さな突起と本体の[ロック解除穴]を合わせて被せ、キャップを時計と同じ方向に「カチッ」と音がするまで回します。



感知距離の調整

感知距離調整ボリュームで感知距離の調整をすることができます。

感知距離表示シールをめくり、調整ボリュームを「短」から「長」の方向へゆっくり回しながら、ご使用上感度のよい距離の調整をおこなってください。



赤LED点滅パターン

【電池交換予告】

1秒

1秒間隔で1回点滅



※電池の交換を示す表示です。早めに電池の交換をしてください。

【動作停止表示(電池切れ表示)】

4秒

4秒間隔で3回点滅

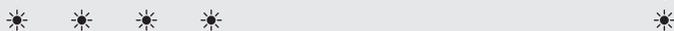


※電池切れです。手を近づけても水が出ませんので、新しい電池に交換してください。

【センサー連続検知 10分間】

10秒

10秒間隔で4回点滅

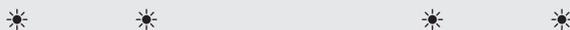


※センサーが10分以上検知した状態です。センサーの前にある障害物を取除いてください。

【洗浄停止モード表示】

7秒

7秒間隔で2回点滅



※10分間自動洗浄を停止する表示です。

【上記以外でLEDが点灯する場合】

- ・電池を入れた直後(制御回路リセット直後)約1秒間点灯(回路動作開始の合図)
- ・初期動作(電池セット後の10分間)でセンサーが感知状態の間連続して点灯(感知距離調整の為)
- ・温水モードの際はセンサーが感知した直後に一瞬LEDが点灯
- ・電池を取り外した直後に手動スイッチを押した時、ほんの僅かな時間点灯(LED消灯と同時に動作を停止する)

ストレーナーの清掃

STEP 1 本体を取り外す

STEP 2 弁座パッキンを外す

吐水口に付いている弁座パッキンを手でめくるようにして外す。

STEP 3 ストレーナーを取り外す

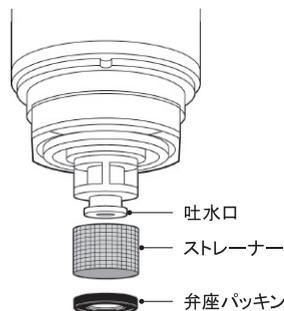
STEP 4 ストレーナーを清掃する

歯ブラシなどでこすりながら水洗いし、ゴミや汚れをよく落とす。

STEP 5 ストレーナーを取り付ける

きれいになったストレーナーを元の位置に取り付け、弁座パッキンをはめる。

STEP 6 本体を取り付ける



洗浄停止モード 10分間自動洗浄を停止させます。

■ 設定方法 ▶

本体背面の手動ボタンを押し、吐水を開始させます。

▶ 止水するまで手動ボタンを押し続け、止水したら手を離します。

▶ 洗浄停止モードになるとLEDが7秒間隔で2回点滅を繰り返します。

■ 解除方法 ▶

手動ボタンを押し、吐水を開始させます。

▶ 止水するまで手動ボタンを押し続け、止水したら手を離します。

※10分経過するとセンサーが復帰して自動洗浄を行うようになります。

※洗浄停止モード中でも手動ボタンを押すと手動洗浄します。

喝水モード 洗浄水量を通常の約半分にします。

■ 設定方法 ▶

本体背面の手動ボタンを押し、吐水を開始させます。

▶ いったん止水しますが手動ボタンを押し続け、2回目の吐水が開始したら手を離します。

▶ 喝水モード中はセンサーが感知するたびにLEDが2回瞬時に点滅します。

■ 解除方法 ▶

手動ボタンを押し、吐水を開始させます。

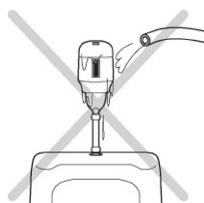
▶ いったん止水しますが手動ボタンを押し続け、2回目の吐水が開始したら手を離します。

※喝水モード中は前洗浄は行いません。

※設備保護洗浄、凍結防止洗浄、手動洗浄は通常水量で洗浄します。

使用上のご注意

- 1 本器は上水道でご使用ください。中水道や異物を含む水ではご使用できません。
- 2 本器に直接、水をかけないでください。故障の原因となります。
- 3 お手入れの際は、次の点にご注意ください。
 - ① 汚れは乾いた布、または水をよく絞った布で拭いてください。
 - ② 酸性・アルカリ性洗剤・クレンザー類は使用しないでください。
外装が傷ついたり、化学変化を起こして変質・変色します。
 - ③ 本器をナイロンたわしやブラシ等でゴシゴシ擦らないでください。
外装を損傷します。
- 5 本器取付後に尿石除去剤などを使用して便器・トラップ等の尿石除去作業を行う場合、分解ガスやミスト等が発生し、本器外装が化学変化を起こして変質・変色するおそれがあります。通気を良くして作業してください。
- 6 本器のセンサーは赤外線反射方式ですので、使用者が黒っぽい衣服を着用している場合、センサーが的確に感知しないことがあります。その場合は、感知窓に手をかざして動作させてください。



仕様

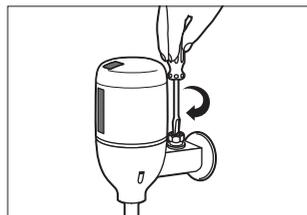
使用電源	単3アルカリ乾電池 × 2本
電池寿命	4000回／月の使用(出荷時設定)で約3年
センサー方式	赤外線反射方式
感知距離・角度	感知窓より50cm以内(調整可能)、下向き20°
動作待機時間	前洗浄「有」の場合は前洗浄後2秒間、「無」の場合6秒間
前洗浄	「有」「無」いずれかの設定が可能(出荷時設定「無」)
本洗浄	スイッチにより便器の種類(淀掛け洗浄方式／スプレッター洗浄方式)を設定し吐水時間は(標準／長め)スイッチで切り替え(出荷時設定「スプレッター」、「標準」)
設備保護洗浄	最終使用から24時間未使用時に自動洗浄
手動洗浄機能	背面の「手動ボタン」を1回押すごとに本洗浄時間吐水、連続吐水可能
簡易凍結防止機能	気温が3℃未満になると、気温に応じて10～30分ごとに本洗浄時間吐水「入」「切」いずれかの設定が可能(出荷時設定「入」)
電池消耗告知	赤LEDが1秒間隔で常時点滅
作動弁方式	パイロット型電磁弁
給水圧力	最低水圧／0.05MPa(流動時)が必要、最高水圧／0.75MPa
吐水量	出荷時設定で1回あたり約2ℓ(0.10MPa)
使用温度範囲	周囲1～50℃(凍結防止機能「入」の場合-5℃まで) 水温1～40℃
製品寸法	外径74mm×高さ150mm(円筒状)
外装	ABS樹脂(塗装)・黄銅/青銅(クロムメッキ仕上げ)

「故障かな？」と思ったら

“故障かな？”と思ったら、以下の事項をご確認ください。それでも状況が改善されない場合は、お買上げの販売店(水道工事店)にお問合せください。

緊急時の止水方法

万が一水が止まらなくなった時は、フラッシュバルブの止水栓(右図参照)、または、水道の元栓を閉めて止水してください。そのまま放置しておきますと、漏水による事故の原因となります。



現象	原因	対処	参照
水が流れない	電池消耗	電池を交換してください。	P6
	センサー感知距離が短い	感知距離を長くしてください。	P7
	センサーが壁やドアなど“何か”を感知している	障害物を取り除くか、感知距離を短くしてください。	P7
	止水栓が閉まっている	本体背後の止水栓を十分開けてください。	-
	ストレーナーの詰まり	ストレーナーの清掃をしてください。	P8
	感知窓に太陽の直射光が当たっている	直射光を遮ってください。	-
前洗浄しない	前洗浄省略	前の使用者の本洗浄から約3分間は、水の浪費を減らすため前洗浄は省略します。	P2
	スイッチ設定	前洗浄「有」の設定になっているか(スイッチ4を手前にしっかり入り込んでいるか)確認してください。スイッチの切り替えは必ず電池を抜いた状態で行ってください。	P5
水が止まらない	本体ねじ込み不足	止水栓を閉じてから本体を取り付け直してください。	P4
水がわずかに漏れている	取り付け部分のパッキンにゴミがかんている	本体を取り外し、パッキンのゴミを取り除いてください。	-
	バルブ内面に錆やゴミなどが付着している	本体を取り外し、専用バルブ内をきれいに清掃してください。	-
LEDが点滅している	電池消耗など	電池が消耗してきたお知らせです。数日でも水が出ない状態になりますので、早めに電池交換してください。	P7
LEDが点灯しない	正常動作	電池装着してから10分間は、感知状態の時だけ点灯しますが、10分過ぎると一瞬しか点灯しません。	P7
誰も使用していないのに便器に水が流れている	設備保護洗浄による洗浄	最終使用から24時間ごとに行われる設備保護洗浄です。	P2